

年間販売数70万本超えの紙パックワイン

『サンクリスピーノ・オーガニック』有機JAS認証取得

～改正JAS法経過措置期間終了後も、安心してご購入求めいただくために～

改正JAS法を遵守した、消費者にわかりやすい「有機ワイン」



ワインのインポーター、アグリ株式会社（本社：横浜市中区）が輸入し、イタリア北中部のワイン協同組合テッレ・チェヴィニコが製造する容量500mlの小型紙パックワイン『サンクリスピーノ・オーガニック』が、日本農林規格（JAS規格）に準拠したオーガニック認証を取得しました。

ワインや農産加工品を主に取り扱い、日本政府から「JAS有機認証を実施可能な外国登録認証機関」として正式に認可されている国際有機認証機関CCPB（Controllo e Certificazione dei Prodotti Biologici）の監査・審査により、同商品は製造から輸出に至る全工程でJAS規格の厳格な基準を満たしていることが証明されました。これにより改正JAS法の経過措置が終了する2025年9月末以降は、左図の通り「有機JASマーク」を表示し、「有機ワイン」、「オーガニック・ワイン」として正式に販売し続けることが可能となりました。

2022年10月1日に施行された改正JAS法により、有機JASの認証範囲にワインを含む「有機酒類」が追加されました。2025年9月30日までの経過措置期間が設けられており、「生産国で有機JAS認証を取得した有機酒類」及び「有機同等性が認められた国（認証機関）から認証を受けた製品を、認可を受けた輸入業者が輸入した酒類」のみが、有機JASマークを表示できるようになります。輸入ワインについては、10月1日以降に通関された（税関による輸入許可を得た）商品が対象となります。日本と有機同等性が認められているCCPBの認証を取得し、JAS規格の基準を満たしたサンクリスピーノ・オーガニックも該当します。（有機JAS認証マーク入りの商品は、2025年12月頃から出荷予定です）。

低価格で食品ロスの少ない「飲み切りサイズの紙パック」が好評！

家飲みで気軽に一杯、これからのシーズンはアウトドアのレジャーでも

容量500mlのサンクリスピーノはワイングラス4杯分の飲み切りサイズで、手回しキャップにより再栓も可能。希望小売価格※858円（税込）とリーズナブルで持ち運びしやすく、家飲みはもちろん、キャンプやピクニック、スポーツ観戦などのレジャーでも楽しめる使い勝手の良さが人気です。コンビニやスーパーなどでの取り扱いが増え、日本国内の年間販売数は、販売開始した2020年に比べ約4倍となる70万本に達しています。

資材や輸送費が高騰する中、瓶ワインよりも低コストで環境に優しいことから、ますます需要が高まっています。



サンクリスピーノ
オーガニック・ロッソ



サンクリスピーノ
オーガニック・ビアンコ



サンクリスピーノ
オーガニック・ロゼート